

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:平成 31年 3月 14日

事業所名 Hug春日原教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4		法令を遵守しております。	
	2	職員の配置数は適切である	4		法令を遵守しております。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	4	0	視覚支援を用いり、分かりやすい空間作りを心掛けております。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	4	0	毎日清掃をしております。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4	0	毎日の朝礼の際に、スタッフ全員でPDCAの確認や定期的にケース会議を実施しております。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4	0	アンケートを実施し、結果をスタッフ全員で共有し、業務改善につなげていくよう努めております。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	0	4		新規事業所のため未実施です。H31年3月に公表予定です。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	4		現在第三者による外部評価は実施しておりません。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4	0	定期的な研修に参加し専門性を高めております。	
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	4	0	療育後の振り返り、支援計画の見直しをスタッフ全員で話し合い支援計画を作成しております。	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	0	Hugオリジナルのアセスメントツールを使用しております。	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	4	0	法令を遵守し、支援内容を設定しております。	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	4	0	支援計画を確認しながら支援をしております。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	4	0	スタッフ全員で療育計画・打ち合わせを行い、計画に沿った支援の実施に努めております。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4	0	月ごとに教材の入れ替えを実施しております。毎回療育内容を確認し、内容が固定化しないよう配慮しております。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成している	4	0	個別・集団活動を組み合わせ、児童発達支援計画を作成しております。	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4	0	支援前に療育の打ち合わせを実施し、役割分担について確認しております。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	0	支援終了後にスタッフで打ち合わせを行い、振り返りや気づいた点について共有できるようにしております。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4	0	課題ごとに支援の取り組みの様子や内容を記録しております。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	4	0	日頃よりスタッフ全員で支援計画を確認しております。	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4	0	担当者会議の前にスタッフ全員で話し合い、まとめ、管理者・児発管で会議に参画しております。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	4	0	必要に応じて連携を取り、支援を行っております。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	0	4		対象児童はおりません。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	0	4		対象児童はおりません。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4	0	必要に応じて連絡や情報交換(共有)を行っております。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4	0	必要に応じて連絡や情報交換(共有)を行っております。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	0	助言や研修を受けております。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
との連携	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	0	4		現在は他施設との交流などの予定はありません。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども子育て会議等へ積極的に参加している	4	0	積極的に参加しております。	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4	0	療育前後で保護者の方と共通理解ができるように努めております。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	4	0	保護者の方の困り感への対応についてアドバイスをさせて頂いております。	
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4	0	契約の際にご説明させて頂いております。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	4	0	契約の際にご説明させて頂いております。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4	0	療育前後で保護者と共通理解ができるように努めております。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	4		現在父母の会についての予定はありません。療育の際に保護者の方同士の連携が取れるように努めます。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	4	0	ご相談等があった際は、迅速に対応するように努めております。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4	0	現在HPを利用して活動概要や連絡などを発信しております。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	4	0	個人情報の取り扱いは十分に注意するように努めております。	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4	0	視覚支援を用いり分かりやすく意思疎通ができるように努めております。	
40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	4	0	月ごとに地域施設にて無料体験会を実施しております。		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	4	0	事業所マニュアルで策定し、スタッフ間で共通理解をしております。また、保護者の方には契約時にご説明をさせて頂いております。	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4	0	避難、救出その他必要な訓練を行っています。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	4	0	聞き取り時に確認をしております。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	0	教室内での食事はありません。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4	0	ヒヤリハット事例集を作成し共有しております。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4	0	会議等で、情報共有をしております。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	4	0	身体拘束マニュアルを策定しております。保護者の方には契約時に同意書にサインをして頂いております。	